令和６年度

湯沢市の教育

第２版（令和６年８月改訂）

湯沢市教育委員会

≪ はじめに ≫

湯沢市総合振興計画に掲げる基本構想、基本計画及び湯沢市教育大綱に掲げる基本理念及び基本方針に基づき、令和６年度における学校教育、学校給食、生涯学習、スポーツ振興及び文化財保護の方針と施策を明確にし、各分野での取組みを推進していきます。

湯沢市の概要

≪ 位置と地勢 ≫

秋田県の南東部に位置し、宮城県、山形県の両県に接しており、秋田県の南の玄関口として、山形県とは国道13号、宮城県とは108号及び398号で結ばれ、直線距離では県都秋田市からは約70キロメートル、仙台市からは約95キロメートルの距離にあります。また、市の面積は790.91平方キロメートルで、秋田県の約6.8%を占めています。

東方から南方にかけて奥羽山脈、西方の出羽丘陵に囲まれ、それらの山々を源に、南北に貫流する雄物川と、その支流である皆瀬川や役内川沿いの豊かな水田地帯を形成しています。県境付近の西栗駒一帯は、雄大な自然林を有しているほか、豊富な温泉群にも恵まれています。

≪ 気　候 ≫

内陸性気候で年間の気温差が大きく、１月と８月の月別平均気温では約 23.6 度の差があり、風速は一年を通して 1.4m～3.4m 前後となっています。

また、降水量は年間 1,500mm 程度ですが、冬季には積雪が多く、最大積雪量は市街地で１m、山間地域では２m に達し、積雪期間は年間 100 日以上にも及ぶ豪雪地帯となっています。

≪ 歴　史 ≫

この地域には古くから人が住み、縄文時代の遺跡が多数発掘されています。平安期の謎に包まれた才女「小野小町」は、湯沢市小野が生誕・終焉の地といわれ、岩屋洞などの多くの史跡や伝承が守り継がれています。

1193年には、小野寺氏が稲庭城を築き、約400年にわたり統治したといわれ、関ヶ原の戦いの後、1602年には佐竹領となり、市内各所に小野寺氏、佐竹氏の時代から伝わる祭りや文化財などが多く見られます。

1603年、佐竹義種が城主として湯沢城に入城以来、湯沢は佐竹南家の城下町としてその街並みが形成されました。1606年には院内銀山が発見され、藩直営の銀山として繁栄し、最盛期には銀山の人口が15,000人を数え、天保の盛り山といわれました。明治38年には奥羽本線が全線開通し、昭和38年に皆瀬ダムが完成、平成８年に国道108号鬼首道路、平成９年に湯沢横手道路、平成28年に院内道路が開通し、生活基盤の整備が進みました。

目　　次

Ⅰ　教育委員会の機構等

１．教育委員会 …… 1
２．組織機構 …… 2
３．教育財政 …… 3

Ⅱ　学校教育

１．学校教育の推進 …… 4
２．教育環境整備の推進 …… 6
３．小中学校の設置状況 …… 7
４．小中学校児童生徒数 …… １１
５．教育研究所 …… １２
６．学校医名簿 …… １３

Ⅲ　学校給食

１．学校給食の推進 …… １４
２．給食施設設置状況 …… １６
３．学校給食センター運営委員名簿 …… １７

Ⅳ　生涯学習

１．生涯学習の推進 …… １８
２．社会教育施設 …… ２０
３．各種委員名簿 …… ２１

Ⅴ　スポーツ振興

１．スポーツ振興の推進 …… ２４
２．体育施設 …… ２５
３．各種委員名簿 …… ２８

Ⅵ　文化財保護

１．文化財保護の推進 …… ３０
２．展示施設等 …… ３２
３．指定文化財 …… ３３
４．各種委員名簿 …… ３９

Ⅶ　資料

１．各施設所在等一覧 …… ４０
２．各学校所在等一覧 …… ４２